

創価学会は、日蓮大聖人の仏法の理念を基調に平和・文化・教育の運動を多角的かつ広範に展開するとともに、人類普遍のヒューマニズムの哲学を探究し、平和のための善の連帯を世界に広げてきた。今後、人類の諸課題解決のため、公共的役割を果たしていく。

2020年は以下の取り組みを、女性や青年によるリーダーシップを最大に尊重しながら、SGI国連事務所（ニューヨーク、ジュネーブ）や関連団体をはじめ、国連諸機関、非政府組織（NGO）、信仰を基盤とした団体（FBO）等とも連携・協力して力強く推進する。

「平和の文化」構築に

幅広く貢献

終戦・被爆から75年を迎える2020年、「平和の文化」を構築する取り組みを引き続き幅広く展開する。そのために、「対話」を通じた啓発、人々とのネットワークの拡大、「誰も置き去りにしない」（後出）社会的包摂への貢献など、一人一人の平和への取り組みを支援する。

- ① 国連の「平和の文化」ハイレベルフォーラム（年次会合）に貢献
- ② AI兵器（キラーロボット）や、合成生物学の軍事転用などの問題に倫理面から警鐘
- ③ 女性平和委員会は、「私が

- つくる「平和の文化」をテーマに、フォーラムや講演会を開催
- ④ 高齢社会の世界的先例である日本の課題を踏まえ、高齢者や子どもへの権利と希望ある生活について考える「平和の文化と希望」展を各地で開催
- ⑤ 日本・アジアをはじめ全世界の戦争犠牲者を追悼し、平和への誓いを新たにする「世界平和祈念 戦没者追善勤行法要」を実施
- ⑥ 戦争・被爆体験の継承活動を推進
- ⑦ 青年部「SOKAグローバルアクション」キャンペーンの

- 一環として、広島・長崎・沖縄の青年部を中心とした「青年不戦サミット」を開催。各種平和意識調査を実施
- ⑧ 戸田平和記念館（横浜市）、沖縄研修道場などで平和意識の啓発活動を実施
- ⑨ 青年の参画を求める国連安保理2250決議および2419決議の普及を支援
- ⑩ 21世紀の国際社会に即した平和と倫理、生命倫理の構築のための研究を推進
- ⑪ 東洋哲学研究所、池田国際対話センターとも協力し、宗教間・文明間対話や相互理解を促進
- ⑫ 民音研究所による「平和構築の音楽」を探索する研究活動を支援

核兵器の廃絶に向け

連帯を拡大

2020年は、「核不拡散条約(NPT)」の発効50周年であり、5年ごとのNPT再検討会議が開催される年である。会議では、条約に定められている、全ての締約国が果たすべき核軍縮義務に対する核兵器国の姿勢が問われることになる。一方、核兵器を法的に禁止する初の多国間条約である「核兵器禁止条約」は、NPTを補完し、強化するものであり、同会議までに、50カ国の批准という発効要件が整うことが期待される。

核兵器が「絶対悪」であるこ

とを一貫して訴えてきた池田先生の平和理念を掲げ、引き続き核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)などと協力し、「核兵器禁止条約」の普及を通じた同条約の早期発効への取り組みを強化する。また、平和・軍縮教育を草の根レベルで推進する。

①核兵器に関する各種国際会議に参加し議論に貢献(NPTなど)
②核兵器の禁止と廃絶を訴える宗教コミュニティの取り組みを推進

③「核兵器禁止条約」の普及を推進する啓発ツールを制作

④ICANと共同制作した「核兵器なき世界への連帯」展を各地で開催

⑤女性平和委員会は、ヒロシマ・ナガサキの被爆体験の映画会を草の根で展開

⑥ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える「ヒバクシャ国際署名」に協力

⑦核兵器廃絶を求める青年の国際ネットワーク「アンプリファイ」の取り組みを支援

⑧戸田記念国際平和研究所による核兵器廃絶および安全保障と先端技術に関する研究および取り組みを支援

気候変動対策などを推進し

SDGs(持続可能な開発目標)の達成を支援

国際社会の2030年に向けたの指標である「SDGs(持続可能な開発目標)」では、「誰も置き去りにしない」との、仏法の生命尊厳・平等観にも通ずる響いが掲げられている。この精神性をいっそう高めながら、SDGsの普及と推進に貢献する。

また、同目標にも掲げられている気候変動問題について取り組みを強化する。

①「持続可能な開発のための教育」(ESD)の活動として、新展示「希望と行動の種子」展や「わたしと地球の環境展」を開催
②SDGsや気候変動問題に関する啓発ツールを活用して、個々人の取り組みを支援
③国内外のFBO(信仰を基盤とした団体)等と連携して、SDGs達成や気候変動対策における宗教の役割に関する議論

に貢献

④地球憲章インタナショナル等と連携し、SDGs啓発アプリ「マップティング」を用いての意識啓発活動を展開

⑤女性平和文化会議は講演会や2019年に行ったSDGsに関するアンケートの結果発表を実施

⑥ブラジルの「創価研究所」アマゾン環境研究センターの活動を支援し、森林再生にも貢献

⑦アフリカにおける森林再生や水資源確保を支援

多様性を尊重する

共生社会を建設

世界各地で、ヘイトスピーチ（憎悪表現）や移民排斥など、少数者を非寛容に差別する事例が多発している。人権について

学び、理解を深め、人権尊重の価値観を育むとともに、必要な行動を促す人権教育は、いっそう重要性を増している。

特に、2020年は北京行動綱領採択25周年、国連安保理I325決議採択20周年の節目となる。

また、焦点を「青年」にと定めた人権教育世界プログラム第

4段階がスタートする。国際人権の前進に貢献するとともに、幅広い教育・啓発活動に注力する。

①「変革の一步——人権教育の力」展を国際巡回

②「人権教育ウェブサイトの普及、活用

③人権教育の促進のため、国連人権理事会の討議に貢献

④ジェンダーの多様性と平等促進のため、国連女性の地位委員会などへの貢献を継続

⑤人権教育映画「尊厳への

道」の活用

⑥「勇気の証言——ホロコースト展」巡回を支援

⑦青年平和会議を中心に、人権や難民問題について考えるための連続セミナー等を開催

⑧生命尊厳の立場から、死刑廃止に関する意識を啓発

⑨女性平和委員会は「子ども権利条約」採択30周年の2019年からスタートした「広げよう」子ども権利条約キャンペーン」に賛同団体として参加。「子ども笑顔キャンペーン」を推進し、「子ども権利」を尊重するための啓発活動に注力

地域のネットワークを生かし

人道活動を展開

自然災害の頻度や被害が増大する中、信仰を基盤とした地域のネットワークが緊急時に大きな力を発揮することが、国際的に注目されている。

復興地への支援を一層推進するために、多様な組織との連携を図る。また、深刻化する難民問題について意識を啓発するとともに、難民支援に取り組み。

①東日本をはじめ各地での被災体験の聞き取り活動を推進。

復興支援のため、「生命のかげやき」展や「希望の絆」コンサートを開催。「東北福光みらい

館」での情報発信を強化

②創価学会による災害救援や復興支援の経験を生かし、国連機関等による防災の取り組みの議論に貢献

③自然災害等の緊急時における支援のあり方をさらに効果的なものにする研究を推進

④難民問題に関する意識啓発のため、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）や国連UNHCR協会のキャンペーンを支援するほか、難民映画の上映会や、難民の子どもたちによる絵画展を開催

⑤他のNGOと協力し、難民の子どもたちの教育を支援

⑥社会本部各部、地域本部各部は、個人の活動を通じて、地域社会の発展と向上に貢献

市民社会における

多角的な文化活動を促進

グローバル化が進展する現代にあって、各国・各地域の多様な文化を守り育む活動や、それらを共有するための多角的な活動を推進する。また、それを担う人材の育成にも継続して取り組む。

①多様な展示を開催

・宇宙との関わりを通じて「地球人」としてのあり方を問い直す「わたしと宇宙展」
・子どもから高齢者まで「読

んで」「語って」「参加」できる「絵本とわたしの物語展」

・社会に広く「活字文化」の重要性を伝える「世界の書籍展」

・写真文化の普及、向上を目的とする「自然との対話」写真展

②全国主要会館の「創価ライブラリー」の充実と多彩なイベントで、良書との出会いを促進
③民謡音楽協会による、多角

的な音楽文化活動と各国との文化交流を支援

④東京富士美術館による、国内外における文化の相互交流の活動を支援

⑤東洋思想、なかんずく仏教の思想・哲学の研究および関連の学際的研究を推進する東洋哲学研究所を支援

⑥文化本部各部、国際本部各部は、個人の活動を通じて文化・学術の振興に貢献

⑦各地の音楽隊、鼓笛隊、合唱団は、演奏活動を通じて地域社会の活性化に貢献

「教育のための社会」実現へ

人間主義の教育運動を推進

社会全体の教育力向上のために、「教育のための社会」への転換を図るべく、幅広い運動を推進する。

①教育本部は「人間主義」の教育運動を展開

・教育者と地域社会の教育力向上のために、人間教育実践報告大会、教育フォーラム等を開催

・各地で家庭教育セミナーや家庭教育懇談会等を開催して、家庭教育の向上に貢献

②辺地や離島などへの図書贈呈を推進

③世界市民の育成を目指す創価大学、アメリカ創価大学、創価学園を支援

④創価教育学に関する国際学術交流を支援

⑤世界各地の学術機関に設置されている池田思想研究機関と連携

⑥教育の振興を通して青少年の健全な育成を図る牧口記念教育基金会の活動を支援

⑦平和、人権、SDGs、人道等に関する展示やワークショップなどの教育ツールを通し、世界市民教育を展開

⑧各地で任意に活用できる平和教育の学習教材を、SOKAチャンネルVOD等を通じて提供